J613-M0099-12 Rev.C 050214

Allied Telesis

CentreCOM® AR260Sリリースノート

この度は、CentreCOM AR260S をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。このリリースノートは、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1　ソフトウェアバージョン　1.1.67A.410

2　重要：バージョンアップ時の注意事項

以前のバージョンから、ソフトウェアバージョン 1.1.67A.410 にバージョンアップするときは、以下の点にご注意ください。

○　「システム管理」→「ファームウェアの更新」画面で「適用」ボタンをクリックしたとき、「ページを表示できません」というメッセージが表示され、バージョンアップを行えないことがあります。このようなときは、Web ブラウザーが保持している Cookie をいったんクリアしてから、「ファームウェア更新」画面にアクセスしなおしてください。

Windows 版 Internet Explorer Ver.6 で Cookie をクリアするには、メニューバーから「ツール」→「インターネット オプション」→「全般」タブと進み、「インターネット一時ファイル」の「Cookie の削除」ボタンをクリックします。

○　**バージョンアップ完了後は、Web ブラウザーが保持している一時ファイル（キャッシュ）をクリアしてからアクセスしなおしてください。**一時ファイルを削除しないと、設定メニューが正しく表示されないことがあります。

Windows 版 Internet Explorer Ver.6 で一時ファイルをクリアするには、メニューバーから「ツール」→「インターネット オプション」→「全般」タブと進み、「インターネット一時ファイル」の「ファイルの削除」ボタンをクリックします。

3　本バージョンで追加された機能

ソフトウェアバージョン 1.1.47a.410 から 1.1.67A.410 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

3.1　ファイアウォールを経由した SIP の利用

○　ファイアウォール経由で SIP を利用できるようになりました。そのためには、アクセスルールを次のように「すべて通過」に設定してください。

- Inbound アクセス：送信元・宛先・プロトコル「全て」、NAT「未定義」、アクション「通過」
- outbound アクセス：送信元・宛先・プロトコル「全て」、NAT「未定義」、アクション「通過」

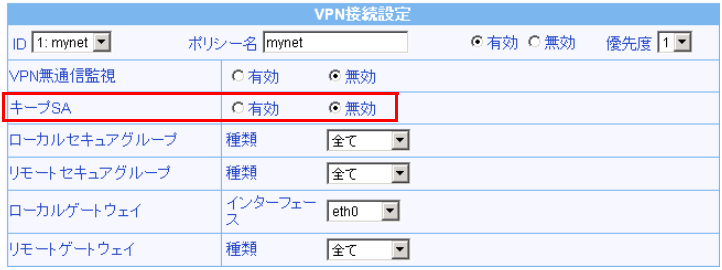
また、ご利用にあたっては下記の制限にもご注意ください。

- 本製品配下の VoIP 端末は 2 台までとしてください
- VPN を併用する場合、IKE 交換タイプは Main モードのみ使用可能です
- 上記アクセスルールにより、アクセス制御機能は無効になります（DoS アタックプロテクト、ステルスモード、セルフアクセスルールなどは有効です）

3.2 VPN

○ 無効な SPI を持つパケットを受信した場合に、フェーズ 1 からネゴシエーションをやりなおす機能が追加されました。なお、本機能に関する設定項目はありません。

○ PPPoE セッションが切断されたときに、確立中の IPsec SA を削除するか保持するかを選択できるようになりました（デフォルトは削除）。設定は「VPN」→「VPN 接続」ページ、「VPN 接続設定」に追加された「キープ SA」欄で行います。本オプション有効時は、PPPoE セッションが切断されても有効期限がくるまで SA を保持します。デフォルトは無効（切断時に SA を削除）です。
なお、本機能は WAN 側 IP アドレスが固定のときだけご使用ください。



○ IPsec SA の有効期限設定において、「通信量と時間のどちらか一方だけ」の設定ができるようになりました。設定は「VPN」→「VPN 接続」ページ、「IPSec 設定」の「有効期限」欄で行います。通信量だけを指定したいときは、時間の欄に「0」を入力してください。同様に時間だけを指定したいときは、通信量の欄に「0」を指定してください。

4 本バージョンで仕様変更された機能

ソフトウェアバージョン 1.1.47a.410 から 1.1.67A.410 へのバージョンアップにおいて、以下の仕様変更が行われました。

4.1 VPN

○ フェーズ 1、フェーズ 2 のネゴシエーションにおけるパケット（最終パケットを除く）の再送動作を「4 秒間隔で 8 回再送」に変更しました。

また、フェーズ 2 において、8 回再送してもネゴシエーションが完了しない場合は、Informational パケット（Delete ペイロード）を送信し、フェーズ 1 からネゴシエーションを再開するよう仕様変更しました。

○ フェーズ 2 のネゴシエーションにおいて、第 3（最終）パケットの送信後 30 秒以内に第 2 パケットが再送されてきた場合、ただちに第 3 パケットを再送するよう仕様変更しました。

○ Informational パケット（Delete ペイロード）を受信したときに、ログメッセージを残すよう仕様変更しました。

4.2 PPPoE

○ PPPoE のネゴシエーションに 4 回失敗すると PADI の再送を停止していましたが、ネゴシエーションの結果にかかわらず PADI の再送を繰り返すよう仕様変更しました。

5 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン 1.1.47a.410 から 1.1.67A.410 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

5.1 PPPoE 接続時、CHAP Success/Fail パケットを受信できないとリブートすることがありましたが、これを修正しました。

5.2 ファイアウォール使用時、配下のコンピューターから TTL=1 の ICMP パケットを受信しても、ICMP 生存時間超過メッセージを返送しませんでしたが、これを修正しました。

5.3 VPN 使用時、配下のコンピューターから受信した TTL=2 の ICMP パケットを正しく転送しませんでしたが、これを修正しました。

5.4 VPN 使用時、IPsec SA の Re-Key で Quick モードのパケットを認識できず、ネゴシエーションを確立できないことがありましたが、これを修正しました。

5.5 VPN 使用時、フラグメントパケットを受信するとメモリーリークを起こすことがありましたが、これを修正しました。

5.6 WAN 側に設置された Syslog サーバーにログを転送するよう設定している場合、最初の VPN ログが送信されませんでしたが、これを修正しました。

5.7 高負荷の VPN 環境でリブートすることがありましたが、これを修正しました。

5.8 他機器からの連続的な Ping に応答できないことがありましたが、連続 500 回までは応答するよう修正しました。

6 本バージョンでの制限事項

ソフトウェアバージョン 1.1.67A.410 には、以下の制限事項があります。

6.1 システム情報

参照「リファレンスマニュアル」/「1.6 システム情報の設定」

○ 「システム管理」→「システム情報」画面で変更した設定が、再起動後に失われる場合があります。これを避けるには、システム情報の変更後、他の設定画面に移動し、（設定は変更せずに）「適用」ボタンをクリックしてください。

6.2 DHCP クライアント

参照「リファレンスマニュアル」/「2.4.5 固定 DHCP クライアント設定」

○ 「LAN」→「固定 DHCP クライアント」画面の「固定 DHCP アドレス」に不適切な IP アドレス（LAN 側のネットワーク以外の IP アドレス、ネットワークアドレス、ブロードキャストアドレス）を入力してもエラーになりません。不適切な IP アドレスを入力しないようご注意ください。

6.3 スタティックルーティング

参照「リファレンスマニュアル」/「4.3.1 スタティックルーティング設定」

○ WAN 側が未接続のとき、「ルーティング」→「スタティックルーティング設定」画面で最大登録数（15）を超える経路を登録してもエラーになりません。15 個以上の経路を登録しないようご注意ください。

6.4 VPN

参照「リファレンスマニュアル」/「7 VPN の設定」

参照「リファレンスマニュアル」/「7.3.2.2 IKE SA」

○ 対向の VPN ルーターで IPsec SA が手動削除されたとき、Informational パケット（Delete ペイロード）を受信しても、AR260S 側では該当 SA を削除しない場合があります。たとえば AR260S 同士の VPN 環境において、一方の AR260S で Outbound の IPsec SA を手動削除した場合、対向の AR260S では該当 SA が削除されません。なお、自動的に削除された SA の場合は、このような現象は発生しません。

○ 「VPN」→「統計情報」画面の「IKE SA」において、本製品がイニシエーターでないにもかかわらず、「Initiator」欄に「Yes」と表示されることがあります。この現象は、本製品が起動後にイニシエーターになったことがある場合に発生しますが、表示だけの問題であり、動作には影響ありません。